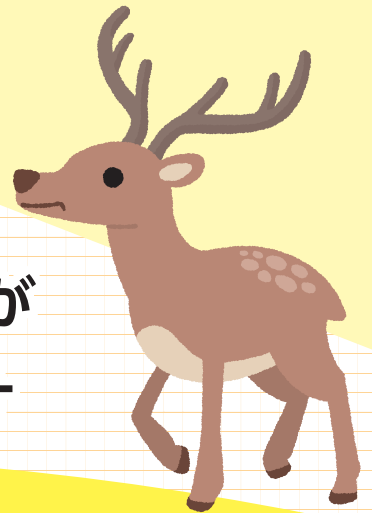


工業系資格でスキルアップ  
ものづくりスペシャリストを目指そう！

都立工科高校生は  
資格取得にかかった費用が  
最大 **半額** 補助されます



事前  
告知

# し かく 工科高校資格取得 アシスト制度

令和6年4月から始まります

都立工科高校では、工業系分野の資格取得にチャレンジする生徒を支援するため、資格の取得にかかった費用が最大半額補助される制度が新たに始まります！（補助を受けられる資格は1人1つです。資格ごとに補助額の上限があります。）  
制度の詳細や具体的な申請手続は4月以降改めてご案内いたします。



## 補助の対象者

- 都立工科高校※に通っている生徒  
※工業科、科学技術科のある都立高校
- 対象の工業系資格を受験する生徒  
※受験しなかった場合、補助を受けられません。

## 補助の対象となる経費

- 資格の取得にかかった費用
  - ① 資格や検定の受験料
  - ② 試験対策講座の受講料
  - ③ 試験対策用テキスト・問題集の代金
  - ④ 試験対策用の材料費 など

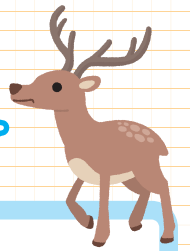
ホームページで  
情報発信しています▶



東京都教育委員会

詳しくは裏面をご覧ください▶

工業系分野の資格約150種類の中から、  
あなたにピッタリの1つを選んで、未来への一步を踏み出そう！  
詳しい内容は、4月以降に改めてご案内いたします。



## 対象資格 (例)

さまざまな工業系分野の資格約 150 種類が対象となる予定です。

### 機械系

- ガス溶接技能講習
- 3級自動車整備士
- 危険物取扱者 など

### 建築系

- 大工技能検定
- 建築CAD検定
- 二級建築士 など

### デザイン系

- 色彩検定
- グラフィックデザイン検定
- レタリング検定 など



### 電気系

- 電気工事士 (第一種、第二種)
- 第三種電気主任技術者 など

### 情報系

- ITパスポート
- 基本情報技術者
- 応用情報技術者 など



## 補助額の計算例

第三種電気主任技術者を選択した場合 (補助上限額 5万円)

パターン①: 資格取得にかかった費用 合計 8万円の場合  
(内訳: 受験料1万円、講座受講料4万円、問題集代金3万円)

かかった費用の半額 = 4万円 (8万円 ÷ 2) < 補助上限額 = 5万円 ⇒ **補助額 4万円 (かかった費用の半額)**

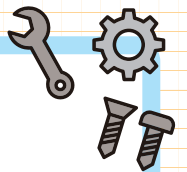
パターン②: 資格取得にかかった費用 合計 12万円の場合  
(内訳: 受験料1万円、問題集代金4万円、材料費7万円)

かかった費用の半額 = 6万円 (12万円 ÷ 2) > 補助上限額 = 5万円 ⇒ **補助額 5万円 (補助上限額)**



## 補助金を受け取るまでの流れ (予定)

補助金を受け取るまでは、以下の流れを予定しております。専用サイトは5月以降公開予定です。



### 01 資格の選択

対象資格の中から、  
受験する資格を選ぼう。

### 02 補助の申請

専用サイトで受験する  
資格の補助を申請します。

### 03 試験対策・受験申し込み

資格の取得に向けた試験対策や  
受験の申し込みを行います。  
(受験料やテキスト代金等の支払い)

### 04 資格を受験

申請した資格の取得を  
目指して、いざ受験!

### 05 かかった費用の報告

専用サイトで実際にかかった  
費用を報告します。

### 06 補助金の受け取り

指定された口座にかかった費用の  
最大半額が振り込まれます。

## お問い合わせ

工科高校資格取得アシスト制度運営事務局 (受託: 株式会社コスモピア)

Mail: kouka\_shikaku@cosmopia.jp

※いただいたお問合せは令和6年4月1日(月)以降、順次返答いたします。

本事業は令和6年度歳入歳出予算が令和6年3月31日までに東京都議会で可決された場合において、令和6年4月1日に確定します。